

## 愛知学院大学図書館情報センターの「理念と目標」

《理念》 図書館情報センターは、建学の精神である「行学一体・報恩感謝」に基づき、教育・研究を支えるための基盤的施設として活動する。

そのために、資料などを体系的に収集・整理・保存して学術情報を蓄積するとともに、利用者への確かな情報を素早く提供できるよう努める。さらに、図書館情報センターで蓄積された情報を内外に発信して、学内外の組織と連携・協力する。これらの目的を実現する為に、以下の目標に沿って運営する。

### 《目標》

1. 学習・教育支援の推進
2. 研究支援の充実
3. 社会貢献の促進
4. 資料組織の構築
5. 効果的・効率的な運営

愛知学院大学の教育内容を考慮し、利用者の学習・教育支援を推進する。学術情報環境の変化に留意して、情報提供機能と発信機能を整備し、充実した研究支援を行う。

図書館開放および公共図書館との連携を促進することで社会貢献の一環を果たし、社会に開かれた大学図書館とする。

愛知学院大学の特色に沿った資料の収集を進めるとともに、それらを体系的に整理・保存する資料組織を構築する。

効果的効率的な運営を目指し、利用者の利便性向上を計る。

## 表紙の解説



へいばよう  
兵馬俑  
(レプリカ)

(図書館情報センター所蔵)



(文学部博物館所蔵)

秦の始皇帝陵に陪葬された陶製の兵馬の像で、1974年に陝西省の農民が発見し、世界を驚かせました。その後の発掘調査によって4つの地下坑から8000体の兵士俑と100頭の馬俑、100台以上の戦車が出土しました。

兵士俑には、将軍俑・軍吏俑・重装歩兵俑・軽装歩兵俑・弩兵俑・弓兵俑などがあり、展示品は重装歩兵俑と跪射弩兵俑(きしゃどへいよう)です。等身大よりやや大きめにつくられており、実際の兵士を前にして陶工が製作したと考えられています。秦の軍隊編成や装備などを知るうえで貴重な史料であり、また秦の彫塑技術の高さを示すものでもあります。

文学部歴史学科准教授 松下憲一